

平成29年5月16日

石垣市長 殿

白保魚湧く海保全協議会
白保ハーリー組合
白保日曜市運営組合
NPO法人夏花

連絡先窓口 090-3139-6088 柳田

要望書

石垣市風景計画の方針に違反する開発行為計画 ((仮称) 石垣島白保ホテルプロジェクト) について

私たちは、株式会社石垣島白保ホテル&リゾート（以下、開発事業者といたします。）が計画しているホテル建設計画「(仮称) 石垣島白保ホテルプロジェクト」(以下、ホテル計画といたします。)について、平成29年5月15日に市に問題点を指摘し、石垣市自然環境保全条例に則り慎重な審査と適切な指導を求める要望書を提出しましたが、その中で指摘した問題点が、石垣市風景計画にも違反していることが明らかになりましたので、ここに指摘いたします。

つきましては、適切な指導または、不適合の通知をしていただくよう要望いたします。

1. 基礎となる石垣市風景計画の方針

石垣市風景計画によると、ホテル計画が予定されている地域は、八重の山並地区であり、サンゴの海浜地区に隣接しています。それぞれの地区の開発行為に対する方針は同じもので、「汚水は、開発地域内の終末処理施設等によって、自然環境、生態系などへの影響が無いレベルまで浄化することとし」となっています。しかし本ホテル計画は、自然環境、生態系への影響が無いレベルに浄化されるとは言えません。

2. 石垣市風景計画に違反する理由

次に引用したように、汚水が自然環境、生態系へ影響が無いレベルにまでは浄化されるとは言えないから。

<5月15日に提出した要望書から引用>

=====
<問題点>

1. 健全なサンゴ礁保全に必要な水質基準の約百倍の濃度の排水を毎日地下に流出させる計画の問題

添付資料P3「4. 自然環境の保全への取り組み」について (P14) 参照

3. 環境配慮事項 「水質汚濁対策」項目

説明資料では、そもそも国立公園でもあるこの海域に影響が及ぶ場所における開発計画について、「⑦地下水及び海域への影響に不確実性が伴う」と悪影響を懸念した記載がされています。独立行政法人 国際協力機構が発行した全世界「サンゴ礁の環境配慮ハンドブック」作成調査 ファイナルレポートでは、サンゴ礁の生育が良好な海域における水質は、最大値でも全窒素で0.06 mg/l、全リンで0.007mg/lとなっているところ、説明資料(P15)によると、浄化槽の処理能力は、全窒素10mg/l、全リン0.5mg/lであり、すでに重大な影響が見込まれるからだと思います。処理後の排水を地下浸透にゆだねても、海岸から数キロ離れた場所ならいざ知らず、砂が多く堆積した保安林に隣接した計画地で、地下浸透による汚水・排水の希釈が期待できないからにはほかなりません。しかも、計画地は保安林の地域より低い土地で、干潮時に一気に地下水が礁池に引っ張られるように流出する可能性があり、もともと礁池内は台風などの影響がなければ、海水の大規模な攪拌は発生しないため、流出した排水の海水による希釈も外洋に接する海域とは比べ物にならないくらい低いものだと思います。

結果として、この排水によってこの海域の自然環境は重大な被害をこうむり、回復不可能となり、市民の暮らしを脅かすこととなります。

===== 引用ここまで =====

以上